

日本環境学会 第42回研究発表会 プログラム（概要）

1. 開催日時： 2016年6月18日（土）、19日（日）

2. 会場： 東京都市大学横浜キャンパス
〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1
市営地下鉄ブルーライン「中川駅」から徒歩7分

3. 費用

① 参加費（予稿集代含む）

一般・シニア会員：6,000円 学生会員：4,000円 非会員：7,000円（4月27日以降に振込の場合）

② 予稿集代：2,000円（追加購入、あるいは予稿集だけ購入の場合）

③ 懇親会費：一般・シニア会員：5,000円 学生会員：3,000円（当日の申し込みは1,000円増し）

④ 昼食（弁当）代：1食（お茶付き）800円

学内の食堂は土・日曜は営業しません。会場周辺には飲食店が若干ございます。

※お弁当を希望される方は**6月10日（金）までに**参加費等とともに振込みをお願いします。

この期日以降に振り込まれた場合、お弁当の受付は致しません。

（11日以降にお振り込み頂いた代金は返金致しませんのでご注意ください）

4. 参加申込について

①事前参加申し込み：所定の振込用紙にてのお支払いをもって参加申し込みとします（振込み手数料はご負担願います）。

②当日参加申し込み：会場にて受け付けます。

※領収書をご希望の方は当日にお申し出ください

※参加費を納入されて研究発表会をご欠席された場合、納入した参加費の払い戻しは致しません
が、予稿集はお送りいたします。

5. 第42回研究発表会実行委員会

委員長：小堀洋美

事務局：咸 泳植（事務局長，会計，懇親会，設営，会場担当），

横田樹広（プログラム作成，予稿集確認，設営，会場担当），

萩原 豪（当日会場運営，懇親会会場担当，受付），

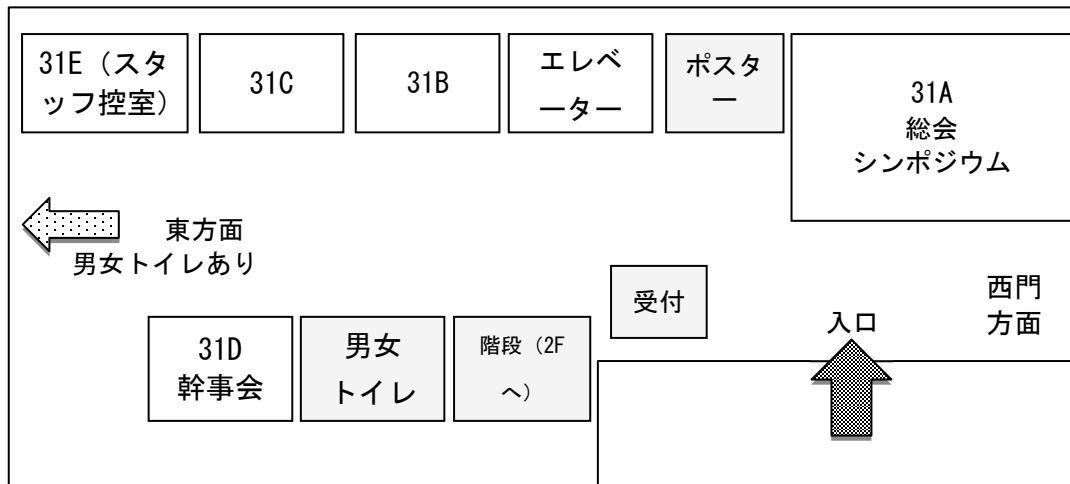
渡未 絢（当日会場運営，懇親会会場担当，受付），

佐藤克春（当日会場運営，予稿集確認，広報）

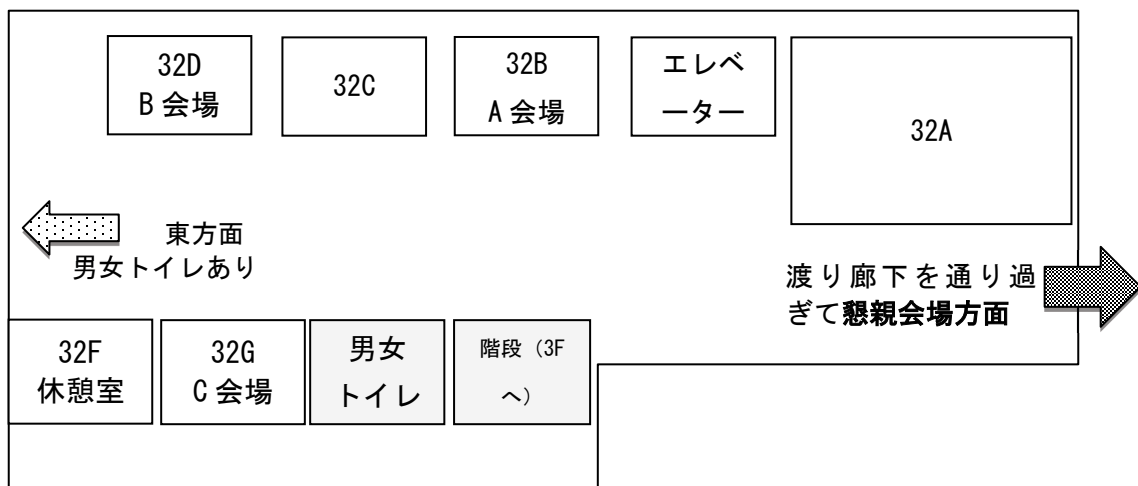
〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区牛久保西 3-3-1 東京都市大学環境学部咸研究室

E-mail：jaes2016@jaes.sakura.ne.jp

会場配置図 3号館1階



会場配置図 3号館2階



総会・シンポジウム：31A教室

A会場：32B教室

B会場：32D教室

C会場：32G教室

幹事会：31D教室

休憩室：32F教室

ポスター発表：31A教室前（ロビー）

懇親会場：食堂2階カフェー

【重要】口頭発表を予定されている皆様へ

- ・口頭発表は発表12分、質疑応答3分の計15分です。
- ・セキュリティの都合上、口頭発表にて液晶プロジェクターを使用する場合は、パーソナルコンピューターをご自身でご用意下さい。接続はVGA端子(ミニD-Sub 15pin)です。この端子以外を利用する方で変換ケーブルが必要な場合は、必ずご自身でご持参下さい。大会事務局では対応致しかねます。

全体プログラム

※ 報告者の発表日時、演題などについては、同封のプログラムを必ずご確認ください。

■ 1日目 6月18日(土) 受付 9:30~

※【 】内は発表番号

	A会場 (32B教室)	B会場 (32D教室)	C会場 (32G教室)
	廃棄物・都市問題	エネルギー①	大気汚染
10:00	【A-1】	【B-1】	【C-1】
10:15	【A-2】	【B-2】	【C-2】
10:30	【A-3】	【B-3】	【C-3】
10:45	【A-4】	【B-4】	【C-4】
11:00	休憩 (15分)		
	環境経済学・環境政策①	エネルギー②	土壌・水質①
11:15	【A-5】	【B-5】	【C-5】
11:30	【A-6】	【B-6】	【C-6】
11:45	【A-7】	【B-7】	【C-7】
12:00	【A-8】		【C-8】
12:15 13:30	休憩・昼食 幹事会 (31D教室)		
13:30 14:30	総会 (31A教室) 三木千壽学長 (東京都市大学) 挨拶		
14:30	休憩 (15分)		
14:45 18:00	シンポジウム (31A教室)		
18:15 20:15	懇親会 (食堂2階カフェー) 吉崎真司副学長 (東京都市大学) 挨拶		

■ 2日目 6月19日(日) 受付 8:30~

※【 】内は発表番号

	A会場 (32B教室)	B会場 (32D教室)	C会場 (32G教室)
	震災・災害関連	生態系・生物多様性	土壌・水質②
9:00	【A-9】	【B-8】	【C-9】
9:15	【A-10】	【B-9】	【C-10】
9:30	【A-11】	【B-10】	【C-11】
9:45		【B-11】	【C-12】
10:00	休憩 (15分)		
	環境教育・環境哲学①	環境経済学・環境政策②	地球環境
10:15	【A-12】	【B-12】	【C-13】
10:30	【A-13】	【B-13】	【C-14】
10:45	【A-14】	【B-14】	【C-15】
11:00	【A-15】	【B-15】	【C-16】
11:15	休憩 (15分)		
	環境教育・環境哲学②	環境教育・環境哲学③ 自由論題	
11:30	【A-16】	【B-16】	
11:45	【A-17】	【B-17】	
12:00	【A-18】	【B-18】	
12:15		【B-19】	
12:30 13:30	休憩・昼食 ポスター発表 (31A教室前 (ロビー))		
13:30 15:30	企画セッション【K-1】	企画セッション【K-2】	

第 42 回日本環境学会 公開シンポジウム

2016 年 6 月 18 日（土）14:45～18:00 東京都市大学横浜キャンパス 3 号館 31A 教室

「多様な連携による日本の市民科学の新たな挑戦」

—身近な生物と水の流れの視点から—

市民は科学研究の長い歴史の中で、その発展に貢献してきたが、科学者の登場とその後の科学の高度化・細分化により、科学は多くの市民にとって、理解し難い、遠い存在となっている。一方、気候変動や巨大地震による広範囲で急激な環境や生物多様性の変化を長期的に把握するためには、従来の研究者や行政による限定的で厳密な調査・研究だけでは不十分で、市民による広域的、長期的な調査・研究を可能にする市民科学への社会的な要請が高まっている。市民科学は多くの国で長い歴史をもち、その定義も多様である。しかし、最近では、市民科学とは、「市民が科学研究のプロセスに関わること」との定義が国際的にも定着し、その成果が研究、生涯教育、社会の課題解決に活かされている。特に欧米では、情報技術の進化と相まって、過去 10 年間に市民科学の著しい発展が見られたが、日本では今後の進展に向けて挑戦すべき課題も多い。本シンポジウムでは、1) 市民科学の最近の動向とその可能性を把握すると共に、2) 日本の市民参加型調査の事例とその課題、3) 多様な連携による市民科学の最近の事例を踏まえて、日本の市民科学の進展に向けた課題の整理、具体的な対応策、多様な連携の在り方について、参加者とともに考え、議論を深める。

プログラム

第1部 講演

司会 咸泳植氏（東京都市大学・准教授）

1. 市民科学とは？その新たな可能性

小堀洋美氏（東京都市大学・特別教授）

2. 日本の市民参加型調査事例とその課題

廣瀬光子氏（(一社)生物多様性アカデミー・研究員）

3. 市民主導による市民科学としての水みちの検証とその保全活動

神谷博氏（水みち研究会代表）

4. NPO 主導による全国規模の web を用いた生き物調査の成果と課題

小河原孝生氏（NPO 法人生態教育センター・理事長）

5. 下水道の新たな展開と行政主導による市民科学プロジェクトの実践

加藤裕之氏（国土交通省 水管理・国土保全局下水道部・流域管理官）

第 2 部 総合討論：市民科学のすそ野を広げるには？

司会：小堀洋美氏

パネリスト：小河原孝生氏、加藤裕之氏、神谷博氏、咸泳植氏、廣瀬光子氏

参加費：無料

参加申し込み方法：事前の申し込みは不要（先着順、300 名）

主催：日本環境学会 協力：国土交通省、横浜市、東京都市大学、(一社)生物多様性アカデミー

一般報告プログラム（連名の場合、○印 報告者）

1日目 6月18日（土）

< A会場：32B 教室 >

【座長：久野勝治】

10:00 A-1 関東地域における室内ダスト中の有害金属濃度に関する研究

○伊藤杏・関内瞳・咸泳植（東京都市大学環境学部）

10:15 A-2 ブラウン管パネルガラス粉末および貝殻粉末を原料とした造粒焼結体を用いたリン再循環利用システム

○中澤亮二・佐々木直里・田中真美・小山秀美・平井和彦（東京都立産業技術研究センター）・坂本浩介・松浦里江・金牧彩・南晴文（東京都農林総合研究センター）・阪口員一・高橋知己・山崎文男（パナソニック株式会社アプライアンス社）

10:30 A-3 食品循環資源を用いた堆肥製造と品質の事例紹介

○長屋祐一（三重大学大学院生物資源学研究所）・小林隆（株式会社エム・シー・エス）

10:45 A-4 茶殻を利用した雑草防除に関する研究

○原田ふみえ・千蔵裕香・石本弘治（第一工業大学自然環境工学科）

【座長：知足章宏】

11:15 A-5 原発立地による地域経済への影響

上園昌武（島根大学法文学部）

11:30 A-6 原発立地地域の経済分析 ―福井県美浜町を事例に

藤原遥（一橋大学大学院経済学研究科）

11:45 A-7 水素社会へのロードマップは低炭素社会に向かっているか

近江貴治（中村学園大学）

12:00 A-8 中国の都市生活廃棄物問題と政策

北川秀樹（龍谷大学政策学部）

< B会場：32D 教室 >

【座長：八木正】

10:00 B-1 再生可能エネルギー優先社会を目指す世界動向と日本の課題

和田武（和歌山大学）

10:15 B-2 京都府内の地球温暖化防止活動における連携・協働の状況

○豊田陽介（特定非営利活動法人気候ネットワーク）・野田浩資（京都府立大学公共政策学部）

10:30 B-3 中国におけるバイオマスペレットの現状と課題

任艦航・佐藤高晴（広島大学総合科学研究科）

10:45 B-4 ISA を主導するインドの諸活動と意義

和田幸子（元神戸市外国語大学）

【座長：豊田陽介】

- 11:15 B-5 ひおき小水力発電推進協議会の取り組みと地域再生
八木正（鹿児島国際大学経済学部）
- 11:30 B-6 南九州における畜産廃棄物とバイオマス発電
八木正（鹿児島国際大学経済学部）
- 11:45 B-7 地域におけるエネルギー自立の課題と可能性 ―東広島市を例にして（2）―
佐藤高晴（広島大学総合科学研究科）

< C会場：32G 教室 >

【座長：近江貴治】

- 10:00 C-1 幹線道路におけるPM2.5の距離別減衰調査の結果について
神戸治夫（川崎から公害をなくす会）
- 10:15 C-2 PM2.5汚染とみどりの保全 ―神社・寺院・教会における調査から―
神戸治夫（川崎から公害をなくす会）
- 10:30 C-3 横浜市における大気汚染物質の輸送パターンと負荷量の特性
奈良島弘也（東京都市大学環境情報学部）・〇駒谷一樹・咸泳植（東京都市大学環境学部）
- 10:45 C-4 1時間値、日平均値、月平均値による行政測定局のNOx計の点検事例
天谷和夫（元群馬大学）

【座長：長屋祐一】

- 11:15 C-5 土壌を構成する無機質粒子の粒径組成と表層土の物質循環との関連性
咸泳植（東京都市大学環境学部）
- 11:30 C-6 関東地域の一般家庭の庭と公園の表層土における有害金属濃度に関する研究
〇江口詩門・加藤徳崇・千石遼介・山岸陸・吉開成棋・咸泳植（東京都市大学環境学部）
- 11:45 C-7 保水剤の土壌施用方法が土壌水分率と植物生育に及ぼす影響
〇前田良之・勝田あかり・松田香里（東京農業大学）・阪本繁・野木幸三（日本触媒）
- 12:00 C-8 廃水処理において亜酸化窒素の生産と窒素除去を両立させるC/N比の検討
〇森脇英美・多羅尾光徳（東京農工大学大学院）

2日目 6月19日(日)

< A会場 : 32B 教室 >

【座長 : 佐藤克春】

09:00 A-9 原子力災害の被災地支援の可能性について

川上直哉 (NPO 法人東北ヘルプ)

09:15 A-10 地域住民の復興支援員に対する意識と復興に対する評価

○桜井良 (立命館大学政策科学部)・

奥田 (野元) 加奈・塚原大介 (ふくしま連携復興センター)・

09:30 A-11 ICRP 公衆被ばく線量限度 1mSv/年の設定根拠およびリスクレベルについて

小野塚春吉 (公益財団法人政治経済研究所)

【座長 : 小野塚春吉】

10:15 A-12 富山県立イタイイタイ病資料館の課題

林節男 (元富山県立大学短期大学部)

10:30 A-13 四日市公害資料館開館1周年と今後の課題

栗屋かよ子 (元四日市大学)

10:45 A-14 干し柿作り体験教育を通じて地域の農業を伝える

林節男 (元富山県立大学短期大学部)

11:00 A-15 横浜市牛久保西地区における住民と大学生による「お庭の生き物調査」の実施効果

○横田樹広 (東京都市大学環境学部)・矢部和美 (ミドリ安全)

【座長 : 小倉亜紗美】

11:30 A-16 自然倫理学の諸問題 ―ジープの「具体倫理学」によせて―

飛田満 (目白大学社会学部)

11:45 A-17 環境課題の体系的分類

森谷昭一 (森谷工房環境教育部)

12:00 A-18 信頼の基盤をかたちづくるもの ―科学における「外的」な真理と「内的」な道徳

柿沼美穂 (国立環境研究所地球環境研究センター)

< B会場 : 32D 教室 >

【座長 : 伊藤良栄】

09:00 B-8 塩ストレスがフダンソウのベタシアニン含有量に及ぼす影響

○箭柏聖 (東京農業大学大学院)・堤沙央里・岡澤寿晃・大島宏行・

加藤拓・前田良之 (東京農業大学生物応用化学科)

09:15 B-9 トマトの長期育苗セル成型苗が定植後の生育・品質に及ぼす影響

五十嵐大造・(東京農業大学短期大学部)・○四條紗詠 (東京農業大学農学部)・

篠原卓・吉田沙樹 (東京農業大学短期大学部)

09:30 B-10 港北ニュータウンの緑道周辺におけるチョウ類相とバタフライガーデン創出効果の変化

○横田樹広 (東京都市大学環境学部)・鈴木綾菜 (三井生命)

09:45 B-11 帷子川流域における雨水調整池および排水区域を単位とした生態空間形成可能性の検討
○河本陸・横田樹広（東京都市大学環境学部）

【座長：桜井良】

10:15 B-12 スリランカにおけるコーヒー栽培農家の持続可能性についての検討

小倉亜紗美（広島大学平和科学研究センター）

10:30 B-13 インドネシアの熱帯林における非木材林産物としてのヤシ砂糖の支援に関する実証研究
—日本での販路拡大にむけた商品開発企画—

○増田瑛里沙・浮谷 菜・佐藤 輝（フェリス女学院大学国際交流学部）・
矢田 誠・田儀耕司（(公社) 日本環境教育フォーラム国際事業部）

10:45 B-14 中国における大気汚染と環境 NGO・環境ガバナンス —情報公開・対話の模索—

知足章宏（京都大学学際融合教育研究推進センター）

11:00 B-15 「無理のある」温泉エネルギー開発の現状と課題

○阿部博光（別府大学国際経営学部）・友成真一（早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科）

【座長：伊藤章夫】

11:30 B-16 沖永良部島における湧水地を用いた ESD 実践とその後の課題

○萩原豪（高崎商科大学）・元木理寿（常磐大学）・野村卓（北海道教育大学釧路校）

11:45 B-17 ESD を活用した上州と三陸を結ぶ被災地支援活動と地域連携活動

—高崎商科大学における学生サークル「チームたんぽぽ」の活動

○萩原豪・豊田正明（高崎商科大学）

12:00 B-18 SDGs の取り組みについて

天谷和夫（元群馬大学）

12:15 B-19 自動給水栓の配水特性

○伊藤良栄（三重大学大学院生物資源学研究科）・河合研治（元三重大学生物資源学部）・
加治佐隆光・近藤雅秋（三重大学大学院生物資源学研究科）

< C 会場：32G 教室 >

【座長：藤野裕弘】

09:00 C-9 兵庫県内河川上流で分離された大腸菌およびサルモネラ菌の遺伝子学的検討

○北元憲利・加藤陽二（兵庫県立大学環境人間学部）

09:15 C-10 地下水の理化学的類似性による汚染源の究明と経時変動に関する研究

秋元宥紀・水野寿洋（東京都市大学環境情報学部）・○田中健太・
中澤諭由・三上萌衣子・咸泳植（東京都市大学環境学部）

09:30 C-11 多摩川の堰と下水処理水が水質に及ぼす影響に関する研究

金森慶悟・佐藤啓瑛（東京都市大学環境情報学部）・○倉持宗次郎・
齋藤孝平・咸泳植（東京都市大学環境学部）

09:45 C-12 相模湖における地球水文化学的な水質評価と水質保全に関する研究

桑島航汰（東京都市大学環境情報学部）・平沢知也・○咸泳植（東京都市大学環境学部）

【座長：前田良之】

- 10:15 C-13 インドネシアの泥炭湿地におけるアブラヤシ植林と森林火災・健康被害
○武本行正・高橋正昭（四日市大学環境情報学部）・伊藤薫（四日市看護医療大学）・
竹内佐智恵（三重大学医学部看護学科）
- 10:30 C-14 中国内蒙古自治区阿拉善乾燥地の水質における一考察
○加治木友貴・久我俊介・見城祐介・咸泳植（東京都市大学環境学部）
- 10:45 C-15 中国内蒙古自治区阿拉善盟における塩類集積層の理化学性の解明
○久我俊介・見城祐介・加治木友貴・咸泳植（東京都市大学環境学部）
- 11:00 C-16 中国内蒙古自治区阿拉善盟の塩類集積層における土壌改良材の添加実験
○松本翔太・榮一誠・咸泳植（東京都市大学環境学部）

<ポスター発表>

- 12:45 P-1 四日市市・鎌谷川の水質汚濁について
竹内佐智恵（三重大学医学部）・○武本行正・高橋正昭・大八木麻希（四日市大学環境情報学部）・周佳・
宮岡邦任（三重大学教育学部）・伊藤薫（四日市看護医療大学）・寺澤爵典（三重県環境保全事業団）
- 12:45 P-2 横浜市の貯水池の放流水が都市河川に及ぼす影響の水文化学的なアプローチ
高橋侑資・千葉直樹・○山崎優輝・咸泳植（東京都市大学環境学部）
- 12:45 P-3 東京都周辺の公園緑地におけるシチズンサイエンスの展開
○倉本宣・三島らすな（明治大学農学部）
- 13:00 P-4 葛西臨海公園におけるウラギクをめぐるシチズンサイエンスの展開
○三島らすな・倉本宣（明治大学農学部）
- 13:00 P-5 春植物ニリンソウの分布特性と夏季における植生環境
○大塚勇哉・倉本宣（明治大学農学部）
- 13:15 P-6 西表島におけるカムリワシの水田環境の利用
○晝間さよこ（東海大学大学院人間環境学研究科）・水谷晃（東海大学沖縄地域研究センター）・
藤野裕弘（東海大学教養学部）・河野裕美（東海大学沖縄地域研究センター）
- 13:15 P-7 東京都環境保全地域・小野路の谷戸水田の農法管理による水生生物相の比較
○藤井大介（東京都市大学）・向井康夫（金沢大学環日本海域環境研究センター）・
佐野真吾・吉崎真司・小堀洋美（東京都市大学）

<自主企画セッション> 13:30~15:30

- A会場 K-1 地域協働型再生可能エネルギー導入推進のためのガバナンスの構築
座長：平岡俊一（北海道教育大学釧路校）
- B会場 K-2 NO₂月間計による簡易測定の新たな市民運動の展開
座長：粟屋かよ子（元四日市大学）